２０２３年４月号

伊賀市立桃青の丘幼稚園だより

あさがお

～多様な主体性を涵養する教育～

園庭には、チューリップや色とりどりの花が咲いて、爽やかな季節の到来です。新年度が始まり、始業式から１学期がスタートしました。

お家の方は、子どもの健康観察をしっかりしてくださり、朝の忙しい時間の中で体調確認を行ってくださいました。登園してきた子どもたちは、元気に挨拶をして、新しいクラスを確認しました。「わぁ、やった大好きなお友だちと一緒だった！」と希望に胸を躍らせて、園玄関を通っていきました。

毎朝、子どもたちやお家の方と挨拶を交わすことが私の楽しみの一つです。

入園・進級おめでとうございます

始業式では、５歳児、４歳児がさくらホールに集まり、みんなで園歌を聴いたり歌ったりしました。新しいクラスに進級した子どもたちは、たくましい表情になりました。

一つ大きく成長したみんなには、このような人に育ってほしいという願いを込めて話をしました。

名付けて「とうせい」大作戦です！

Ⓣ ともだちといっしょに　たのしく　あそびましょう。

ⓤ うんどうを　たくさん　しましょう。

ⓢ せいいっぱい　さいごまで　がんばりましょう。

ⓘ いのちを　たいせつに　しましょう。

みんな真剣に話を聴いていました。素晴らしいですね。

そして、新しく着任した先生や友だちを紹介して、ワクワク感いっぱいの始業式でした。

７日（金）は、第 14 回入園式でした。3 歳児 23 人、4 歳児 3 人、5 歳児 2 人、計 28 人が新しく桃青の丘幼稚園へ入園し、合計 81 人の園児でスタートします。

5 歳児が手づくりしたペンダントを新入園児に贈りました。年長児のみなさん素敵でしたよ。

～幼稚園で過ごす大切なこと～

初めての幼稚園、新しい学級になったところで、不安や悩みはつきませんね。
幼稚園は、教育を受けながら友だちや教師と過ごす場所です。遊び、生活、食事、排泄と子どもたちにとって生活そのものといってもいいかもしれません。

その中で唯一、家庭では経験できないことが友だち関係なのです。今後、人間関係の基礎や土台となると言っても過言ではありません。友だち関係を通して学ぶことがたくさんあります。

友だちがいたから優しさに気づいたり、勇気をもらってチャレンジしてみたり、ケンカをしたから許すことが出来たり、順番や遊びのルールを知って遊び方を学び、友だちと一緒だから楽しさを知ります。子どもたちが経験する一つひとつの全てが力に変わるのです。涙の数だけ強くなる！笑顔の数だけ大きくなる！保護者の皆さまには心の成長をぜひ、応援していただきたいと思います。

あいせんせいの「ほっこりタイム」設立♡

昨年もそうでしたが、数々の保護者の方とお話をしてきました。
いろいろな悩みや話を聴いて、仕事や育児で疲れたお家の方がほっこりできる時間があればいいなと思ったからです。本音で話せる「場」を園の一角に設けました。少しの時間になるかもしれませんが、ぜひご利用ください。
「あいせんせい、聴いて！」の声をお待ちしています♡

実は、毎日、教育に携わり頑張っている大好きな先生たちにも「ほっこりタイム」を設立しました。心身ともに健康で子どもたちとかかわってほしいと思うからです。

皆さんのお話を傾聴して、幼児教育を一緒に盛り上げていきたいと思っています。

あさがお：江戸時代から親しまれた花です。とりわけ朝顔はその色の種類、大きさの違いなど、変化に富んだ多様性において「多様な主体性の涵養（かんよう）」の見える象徴的な花に相応しいのではと思い、この幼稚園だよりのタイトルにしました。
涵養（かんよう）とは、自然にしみこむようにという意味です。無理なく自然にたくましく育ってほしいという願いを込めています。

（文責（ぶんせき）　松永（まつなが）　愛（あい））